

市民の企画提案による協働のまちづくり事業（令和2年度実施分）

審査における委員の主な意見の概要

提案 事業名	森の妖精，白樺プロジェクト
提案 団体名	NPO法人 癒しの森づくり
主な 意見 の 概要	<p>★林業や木材を使う家具などの産業の次世代育成のためにも，良い事業だと思います。</p> <p>★市民と身近なところから理解を広げようとしている点が良く，林業とのつながりにも着目することで，普段知ることのできない白樺の魅力を伝えられると思います。</p> <p>★白樺は道内に繁茂している中で，旭川市だからこその独自性があまり伝わってこなかった印象です。旭川らしさ，地域性などを組み合わせることでさらなる可能性が生まれてくるのではないかと思います。</p> <p>★担当部署が持つ庁内外のネットワークも積極的に活用し，多方面での普及に力を入れて行ってほしいです。</p> <p>★将来的に北海道への移住や林業に携わる人材の増加を目標とするのであれば，イベント内容に林業体験や林業に関心がある人と雇用先とのマッチングを盛り込んだり，移住促進や就労支援の分野で活動している団体とコラボしたりなど，段階的に広げ発展させていくプランが必要だと感じます。</p>

提案 事業名	口から始める食べ方支援事業
提案 団体名	段階食について考える「もがな」
主な 意見 の 概要	<p>★多様な職種の専門家がかかわっており，信頼性の高い提案だと感じました。</p> <p>★高齢者と子どもという，異なる対象間の機能の変化に着目した，ユニークかつ世代間交流の相乗効果も期待できそうな取組と感じます。</p> <p>★団体と市が情報交換しながら互いの役割を果たしていこうとする熱意が感じられました。</p> <p>★3年間でどのように発展させていけるかに注目しています。専門職への広がりもちろんのことですが，一般の市民の方にも普及できる機会があると良いと思います。</p> <p>★高齢者と子どもは共通点も多いですが，異なる点もあると思いますので，どちらにも使いやすいような内容・デザインになるよう期待します。</p>

市民の企画提案による協働のまちづくり事業（令和2年度実施分）  
**審査における委員の主な意見の概要**

提案 事業名	フレイル予防の推進による健康長寿の街の実現
提案 団体名	旭川フレイルプロジェクト
主な 意見 の 概 要	<p>★フレイルという概念を広める展開の一步として、普及啓発を目的とした講演会事業はとても良いと思います。</p> <p>★当事者主体の取組にしていく点が素晴らしいと思いました。</p> <p>★講演会の日時や場所、講演内容、広報の方法等は、参加対象者に合わせて設定することが大切です。実施内容を検討する際には対象者の年代層などを具体的にイメージしておく必要があるでしょう。</p> <p>★参加者の満足度・納得度を高めるためには、講話を聞くだけでなく作業やアイデア出しを交えるなどして、参加者が自分ごととして考えられるような工夫が必要だと思います。</p> <p>★学生である実施団体と参加対象者とのジェネレーションギャップを解消するためにも、各地の地域包括支援センターに実際に足を運び、当事者の実情に関する情報を丁寧に聞き把握に努めると良いと思います。</p>

提案 事業名	ひとり親家庭等への家計相談事業
団体名	旭川FP倶楽部
主な 意見 の 概 要	<p>★社会情勢の実態を背景とした提案であり、協働事業として期待が持てます。</p> <p>★プレゼンで具体的な事例とその対応結果が示されたことにより、当事者の実態をイメージしやすいのが良かったです。</p> <p>★支援を必要としている家庭とFPとをつなぐ行政の役割が重要になると感じます。</p> <p>★既存のサポート体制に対し、本事業が生み出す効果を明らかにするのが初年度の取組の意義でもあると感じます。対応件数や内容などのニーズ・実績をしっかりと把握するとともに、FPへの影響や意識の変化も評価しながら方向性を明確にすると良いと思います。</p> <p>★市民の家計管理に関する問題意識はまだ薄いのではないかと思います。養育費にとっても、そもそもどれくらいのお金が必要かに関する情報は身近にありそうで実はあまりなく、危機的状況にあっても気づかない場合もあり得ます。そういった情報発信についても団体の役割として期待しています。</p>